

日光歴史街道活性化コンソーシアム

設立

構想の全体像

活性化共同宣言の概要

2012.11.1 首長サミットにて関連16自治体の長により共同宣言を採択

署名自治体：

- 〈栃木県〉宇都宮市、日光市、鹿沼市、小山市、下野市、野木町
- 〈群馬県〉板倉町
- 〈埼玉県〉加須市、草加市、越谷市、幸手市、宮代町、杉戸町
- 〈東京都〉中央区、台東区、足立区

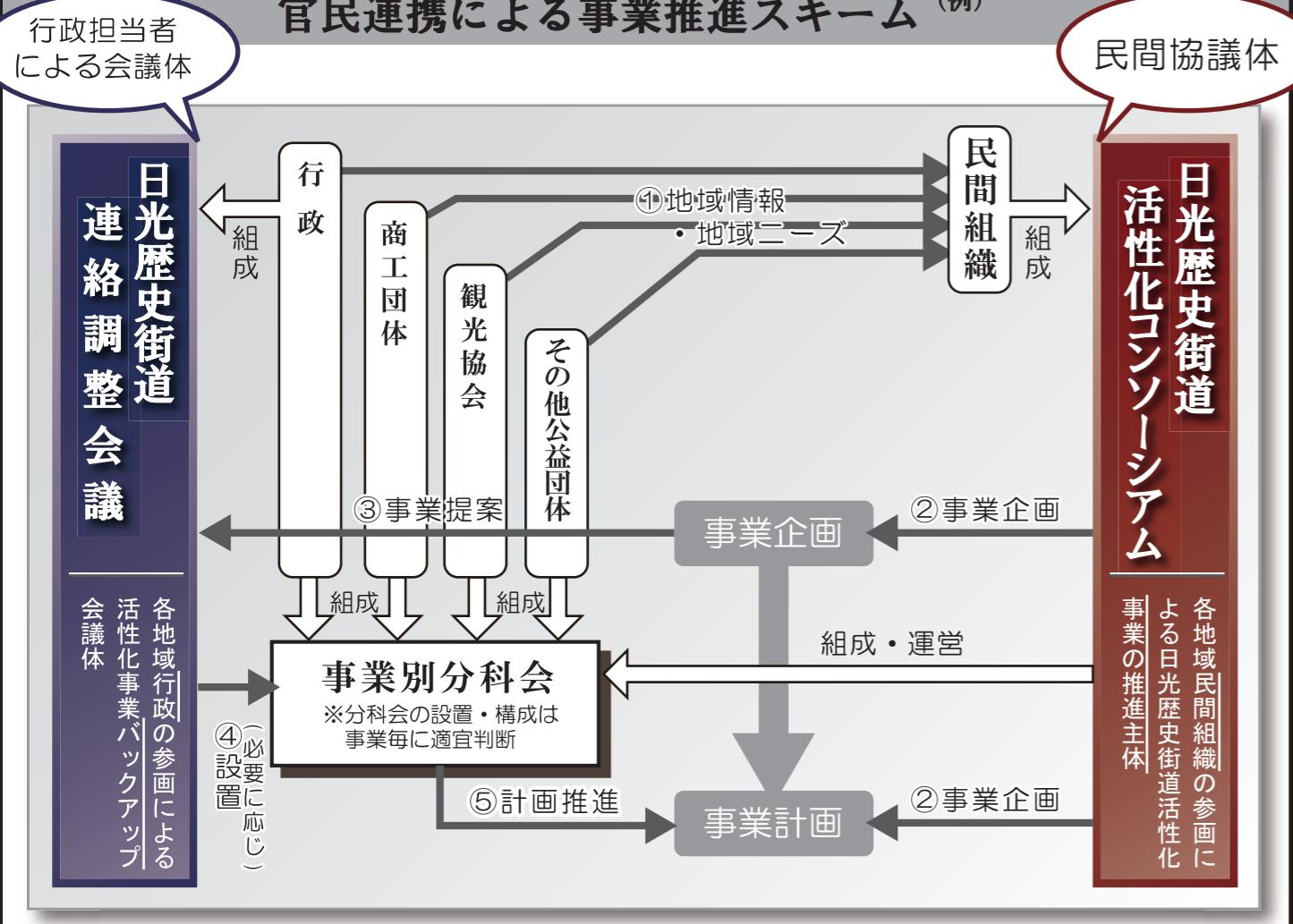
共同宣言4つの要旨

1. まちなか回遊型の観光の実現
2. 広域周遊型の観光の実現
3. 広域ブランディング
4. 民間協議体による事業推進の環境を整備



官民連携による事業推進体制を整備

官民連携による事業推進スキーム（例）



2014.6.13 fri

「日光歴史街道活性化共同宣言」の理念を継承した協議体
「日光歴史街道活性化コンソーシアム」誕生！！

「日光歴史街道活性化コンソーシアム」は、日光街道を基軸とする江戸と日光を繋ぐ歴史的街道にいまなお残る地域資源を活かし、地域の活性化に取り組む、10地域11団体から構成される協議体です。関連16市区町の首長により平成24年11月1日に採択された「日光歴史街道活性化共同宣言」を理念の柱とし、平成26年6月13日に設立されました。

会長	NPO法人日光門前まちづくり 理事長 岡井 健
加盟団体	東京都 〔足立区〕NPO法人千住文化普及会 埼玉県 〔草加市〕「今様・草加宿」市民推進会議 〔越谷市〕TMO越谷越ヶ谷宿部会 〔杉戸町〕ふるる杉戸のまちづくり 〔幸手市〕NPO法人日光街道幸手を感じる会 栃木県 〔野木町〕のぎまちづくりネットワーク 〔小山市〕(一社)小山市観光協会 〔下野市〕(一社)下野市観光協会 〔鹿沼市〕DANNAVISION 〔日光市〕にぎわいのあるまちづくり研究会 NPO法人日光門前まちづくり
事務局	感動創造研究所 岡本淳芳／関根由実



▼ 朝日新聞埼玉東部版(2014年6月14日朝刊)
および栃木版(2014年6月15日朝刊)に掲載

旧日光街道を舞台に活動する東京、埼玉、栃木のNPOや観光協会など11団体が13日、「日光歴史街道活性化コンソーシアム」を設立した。幸手市で設立総会があり、地域間交流のまちあるき事業や徳川家康没後400周年に向け、来年度のフォーラム開催

日光街道の活性化

3都県11団体協力

団体設立、県内から4団体

などを決めた。
県内からは草加市の「今様・草加宿」市民推進会議、越谷市のTMO越ヶ谷宿部会、杉戸町のふるる杉戸のまちづくり、幸手市のNPO日光街道幸手を感じる会の4団体が参加。日光市のNPO日門前まちづくりの岡井健理

事長(36)を選んだ。
街道沿いの16市区町長が2012年11月、日光市に集まり採択した「日光歴史街道活性化共同宣言」に沿って、コンソーシアムは発足した。街道の町並みや文化を生かし、地域的魅力を「点」から「線」

▼ 東京新聞埼玉中央版(2014年6月16日朝刊)に掲載



3都県11団体が協議会設立

日光街道の魅力アップを

旧日光街道の宿場町などの歴史を生かし、地域の魅力アップを目指す民間団体の協議会「日光歴史街道活性化コンソーシアム」の設立総会が、幸手市の市勤労福祉会館で開かれた。埼玉、栃木、東京の3都県から町おこしなどに取り組む民間11団体が参加。今後、街道周辺の歴史・文化をPRする企画展や町歩き事業などで連携して活動する。

旧日光街道周辺には宿場町の風情ある街並みや史跡が残り、歴史や文化を生かした町おこしの取り組みも各地で行われている。

こうした観光資源をつないで地域の魅力を高めようと2012年11月、群馬を含む4都県の16市区町が「日光歴史街道活性化 首長サミット」

ツト」を栃木県日光市で開催。歴史を生かして観光による活性化を目指す共同宣言をした。コンソーシアム設立も、具体的に事業を展開する母体として宣言に盛り込まれた。

コンソーシアムには本県の4団体と栃木県6団体、都内の1団体が参加した。13日に開かれた総会では町歩きや企画展のほか、町歩きマップ作製などの方針を決めた。2015年度には徳川家康没後400周年に合わせ、各種イベントを開催する。

会長に選出されたNPO法人「日光門前まちづくり」(日光市)の岡井健理事長(36)は「各団体や官民などと立場を超えた連携を築いていきたい」と抱負を語った。(石井宏昌)

▼ 2014年6月16日 読売新聞埼玉東版(朝刊)に掲載

旧日光街道宿場町 地域活性化へ

NPOなど11団体連携

旧日光街道の宿場町があつた地域で活動している幸手、草加、越谷市と杉戸町の3市1町で活動するNPO法人や市民団体など11団体が「日光歴史街道活性化コンソーシアム」を設立した。幸手市で開かれた総会では、地域に眠る歴史的・文化的な資源を掘り起こして誘客を図り、地域を活性化するために連携することを確認した。

県内のほか、日光市(栃木県)、足立区(東京都)などからも参加が決まり、今後は観光マップの作成や地域間交流のまちあるき事業などを地元も準備を進めている。各地域と連携を深めたい」と話した。



設立総会で今後の意気込みを語る岡井会長

沿線の活性化に期待

11団体で組織幸手

沿道のぎわいを取り戻す「日光歴史街道活性化コンソーシアム」設立総会が13日、幸手市で開かれた。埼玉、東京、栃木のNPO(特定非営利活動法人)など11団体で組織し、2015年度から本格的な活動をスタートさせる。

この取り組みは2012年11月、幸手、越谷、栃木県日

光の3市長が発起人となり、

日光市で開催した「日光歴史

街道活性化首長サミット」が

指していた。

この日、出席したのは県内

からは「今様・草加宿」市民

推進会議(草加市)、「T

O越谷 越ヶ谷宿部会

(越谷市)、「ふるさと杉戸のまちづくり」(杉戸町)、「日

光街道幸手を感じる会」(幸手市)の4団体をはじめ、「千

住文化普及会」(東京都足立

区)や「日光門前まちづくり」(日光市)など計9団体。

はじめに幸手市の渡辺邦夫

市長が「大きな第一歩を踏み

出した。沿線の活性化に期待

したい」とあいさつ。会長に

は「日光門前まちづくり」の

岡井健理事長が選出された。

事務局は「感動創造研究所」

(東京都文京区)が担う。

今年度の活動は、会員間の

の開催を目指し、開催地との

調整を図る。15年度は、16

年の徳川家康没後400周年を

見据え、徳川家と各地域との

つながりをクローズアップす

るイベントなどを予定してい

(横江初太郎)

▲ 埼玉新聞県央/県東版

(2014年6月15日朝刊)に掲載

